

福岡県 上毛町国民健康保険直営診療所



熊谷 穂積
福岡県出身 25期

上毛町の位置



福岡県の東端に位置し、山国川をはさんで大分県中津市に隣接している。中津市中心街までは車で約15分の距離。

大分県中津市とは、経済・生活・文化・教育など多方面で県境を越え関係が深い。



福岡県と大分県の県境となる山国川



山国川の中流～上流域は耶馬日田英彦山
国定公園に指定されて
おり、その一部は名
勝耶馬溪とて多くの景
勝地がある。

下流の河川敷では、休日にスポーツやウォーキングを
する人をよく見かける。



名勝耶馬溪



青の洞門、一目八景、魔林峡等に代表される多くの景勝地があり、紅葉の時期にはたくさんの観光客が訪れる。



上毛町の概要



面積 62.4km²

人口約8374人

世帯数約3102

(平成20年6月)

高齢化率 約3割



上毛町の環境

- 中津市に近い平野部には町の公共施設や郵便局、飲食店などがあり、道路も整備されている。
- 山間部に行くにしたがい山の斜面に民家が点在し、田園地帯が広がる。

(右上写真は田植えを終えた棚田の風景)



- 豊かな緑と美しい水があり、山間の小川には初夏に蛍が舞う。
- 民家や道路脇には1年中四季折々の花が咲いている。

上毛町の史跡



上毛町周辺には、古墳や塚などの史跡がたくさん点在しており、現在も発掘作業が行われている。

百留横穴墓群



崖面に横穴を掘り込んで造られた古墳時代のお墓。



国指定「大ノ瀬官衙遺跡」

国道10号線沿いであり、道の駅が隣接する。全国でもめずらしい史跡一体型の道の駅

上毛町のレジャー施設



ひとの港 太平楽

湯の迫温泉、ビュッフェレストラン、
地元特産品販売市などが並んだ
複合施設

大池公園ふれあいの里ログハウス

キャンプ施設、運動場、アスレチック
広場、遊歩道を完備した宿泊施設



上毛町診療所の概要



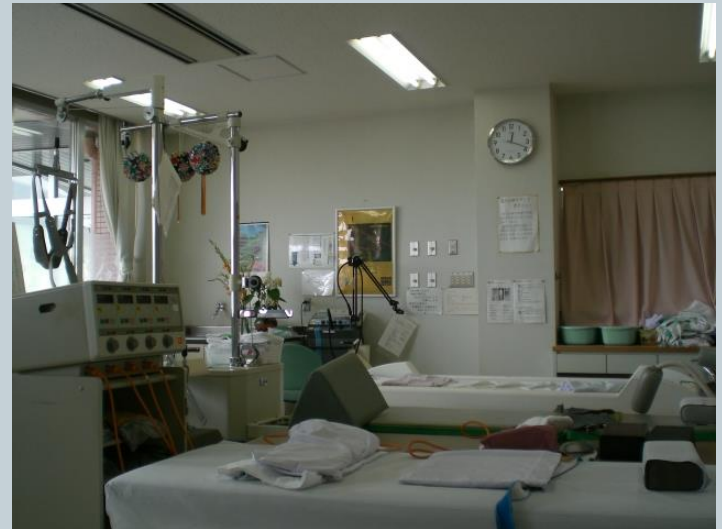
- 診療日 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
土曜日 午前9時～12時
- 病床数 無床（平成18年度より入院ベッドを廃止）
- 医師 常勤1名
診療応援医師2名
- 職員体制 看護師4名
看護補助員 1名
事務員4名
- 臨床研修協力施設



診療所施設概要



- 外来診察室（1診、2診）、採血・点滴室
- 検査室（レントゲン室、内視鏡室） * CTもあるが現在使用していない。
- 受付・待合室（写真左下）
- リハビリ室（写真右下）
- 2階には19床の入院ベッドがあったが、現在病棟は休止されている。



診療所に隣接する福祉施設・福祉サービス

- **特別養護老人ホーム「たいへい苑」**

入所者 約50名

ショートステイ利用者 約10名

診療所に隣接しており、嘱託医を請け負っている。
入所者の健康管理や急変時の一次対応をしている。

- **デイサービス「さざんか荘」**

午前8時半～午後5時

休館日 日曜日

- **福祉バス**

町を定期的に巡回。
移動手段のない高齢者にとっては
診療所への主要な交通手段となっている。

- **社会福祉協議会事務所**

町の介護事業や福祉サービスを行っている。
特養たいへい苑の敷地内に相談窓口がある。



特別養護老人ホーム「たいへい苑」



デイサービス「さざんか荘」

診療所の主な業務－その1－



- 外来診療
一日平均 25人(リハビリのみの受診含む)、のべ 1000人/月
新患 平均7人/1カ月
- 検査
血液検査(CBCと血ガス、血糖は当院で測定可能。その他は外注)
尿検査、レントゲン、心電図、超音波検査、消化管内視鏡検査
- 往診
現在は2軒のみ、月1回の頻度で往診
その他、緊急で依頼があれば往診対応している。
- 休日在宅医
地域の開業医による当番制の休日診療(4ヶ月に1回程度)
- 臨床研修医の実習指導
中津市民病院から、臨床研修医が1人ずつ1週間実習にくる。
年2~4人受け入れている。

診療所の主な業務－その2－



- 特別養護老人ホーム嘱託医
 - 回診 週2回 火・金曜午後
 - 健診 年1回
 - 容態急変時の一次対応(休日夜間も対応)
 - 在宅医療希望者の治療、看取り
- 学校健診
 - 保育所 1 小学校 3校 中学校 1校
- 個別健診、母子寮健診、特定健診
- 予防接種
 - 個別接種(BCG・DPT・MRワクチン)を行っている。
 - ポリオのみ年2回 集団接種
- 病後児保育
 - 平成20年度から、診療所の横の施設で運営開始

上毛町の医療環境



- 上毛町には4か所の診療所・医院があり、当診療所は、最も山間部に近い所に位置する。福祉バスが町内～診療所を巡回するため、交通手段のない高齢者や山間部奥地の患者さんにとっては当院を利用しやすい。
- 入院治療や精密検査が必要な場合には隣町や中津市の総合病院に依頼している。(車で10～15分の圏内)
- また、上記の総合病院にはない専門領域(皮膚科、眼科、耳鼻科、脳外科、整形外科、精神科)を標榜する診療所や病院へのアクセスも比較的容易である。
- 高度の専門医療が必要な場合、北九州や別府などへ紹介することもある。(車で60分の圏内)

当地域の夜間・休日の救急医療



- 当地域の救急体制

- 1次救急

- ①福岡県 豊前築上医師会が運営する休日急患センター

- ②豊前築上管内の開業医の輪番による休日在宅医

- 2次救急

- 隣町や中津市の救急告示病院

- 休日急患センターは平成19年6月以降、医師不足のため午後10時以降の深夜診療を中止している。また、休日在宅医も午前8時30分～午後5時までの日勤帯のみの対応。

- 豊前築上管内は夜間の一次診療が手薄となっている。

- 2次救急医療を行う病院に1次・2次救急患者が集中し、医師・医療資源の相対的な不足が深刻化。今後、福岡・大分の県境を越えた広域医療圏での救急医療体制整備が急務となっている。

上毛町の高齢化と在宅医療・介護問題



- 山間部の人口減少が進み、他の医療機関へのアクセスが簡便なこともあり、当診療所を利用する患者数は全体的としては減少傾向にある。
- 山間部の高齢化に伴い、移動が困難な障害を持つ高齢者や認知症患者の割合が増えている。今後は在宅での医療や看取りの需要が高まるかもしれない。
- 高齢夫婦世帯や高齢独居世帯が増えており、同居家族がいないために在宅医療が困難な場合がある。
- 訪問看護・介護スタッフが需要に対して不足している。
- 在宅介護が困難な場合の、福祉介護施設が不足している。現在、特養ホーム「たいへい苑」は入所待機者80～100人。
今後、早急な福祉介護スタッフ・施設の充実が必要。